

フシグロセンノウ

7月11日 東山植物園

オレンジ色の花が一面の苔の絨毯の中に咲いていました。



ナデシコの仲間で、漢字で、節黒仙翁と書きます。節が黒紫になり、センノウに似ていることが名前の由来とのこと。別名オウサカバト、あるいはゼニバト。日本の固有種です。

センノウは、中国原産で、嵯峨の仙翁寺に植えられていたことから名られたとか。色はフシグロセンノウと似ていますが、花弁の先端に細かく切れ込みがあります。